

⑨日本語を頑張りましょう

HOANG THI TO UYEN(ホアン ティ トウ ウエン) / ベトナム

皆さん、こんにちは。ホアン ティ トウ ウエンと申します。ベトナムの出身です。来日してからそろそろ4年目になります。現在流通経済大社会学部国際観光学科の2年生です。今日は私たち一外国人のほとんどが少なくとも1度は遭遇したことのある日本語に関連することについて話したいと思います。特に、この話を聞いてから日本語学校に通っている学生たちには、時間のあるうちにもっと日本語の勉強を頑張ってもらいたいということを伝えたいと思います。

皆さんは来日してから今まで周りの人に心から感謝したいけれどできなかつたり、それとも日本語能力が限られたからといって他人の怒りに言い返せず、耐えなければならなかつたりして、罪悪感や悔しさを感じた経験はありませんか。私はそのような時間を過ごしました。2021年12月、来日した8ヶ月経った頃、奈良付屋さんでアルバイトをしていたことを覚えています。私はこちらでの最初で唯一の外国人でしたので、明らかに同国籍の先輩はいませんでした。そうであっても社長は初め全員のスタッフはとても良い人たちでした。今まで一番お世話になった方々です。私のような新留学生に暖かさをもたらしてくれました。しかし、私が今までまだ後悔しているのは、彼らに最も敬意と誠実な言葉で感謝の意を表すことができなかつたことです。言葉の壁のせいで、彼らの助けをもらうたびに、日本語レベルが低かった私は「ありがとう」という簡単な言葉と笑いしかで感謝を伝えることができませんでした。

次は日本語の壁に関連した私の友人の別のケースです。今回は残念なことがありました。大学に入学の際、新聞配送店でアルバイトをしています。私は日本に来た当初よりも日本語が結構改善されましたのでお店の人たちとのコミュニケーションも取りやすくなりました。こちらで、日本語学校に通っているベトナム人の1つ年下の後輩二人と細かいことまでコントロールし好きで几帳面ながらも優しいマネージャーに出会いました。留学生二人のお店での人とのコミュニケーションのぎこちなさを見ると、昔の自分の姿を思い出しました。ある日、日本語が上手ではない後輩の二人とマネージャーの間のコミュニケーシ

ョンと理解があまりにも異なっているため、双方に不満が生じていました。今回のケースはより深刻のようでした。長い間にこの矛盾を解決されなかったため、結局、二人は仕事を辞めることにしました。現在、この店で外国人は私しか残っていません。寂しです。

外国に行く際、言語の制限があるのは当然だとわかります。外国でいる初期におそらく感謝したい人がいれば不満を感じている人も会うでしょう。しかし、どうしようもできず、我慢しかなく、全体的な結果はまだ多くのことを後悔している人も少なくないと思います。言語の制限は多くの不利益をもたらすと思います。私の学校では、留学生として、他の多くの外国人の友人がクラスの前に立ってスピーチをしたり、他の日本人の友人とグループ課題を行ったりするときに、シャイでいじける人を目の当たりにしました。一方、大学生活にすぐに溶け込み、日本人の友達だけではなく、他の国籍の新しい友達もたくさんでき、自信に満ちたダイナミックな学生を多く知っています。日本に住むと日本語は確かに大切だとわかりました。日本語は、あなたが将来常に幸せで豊かになることを保証するものではありませんが、良い日本語は、あなたがより多くの新しいことを経験でき、知識を広げ、この国での生活をよりカラフルの役立つといえるでしょう。従い、私たちは今日から日本語をもっと勉強して上達させましょう。